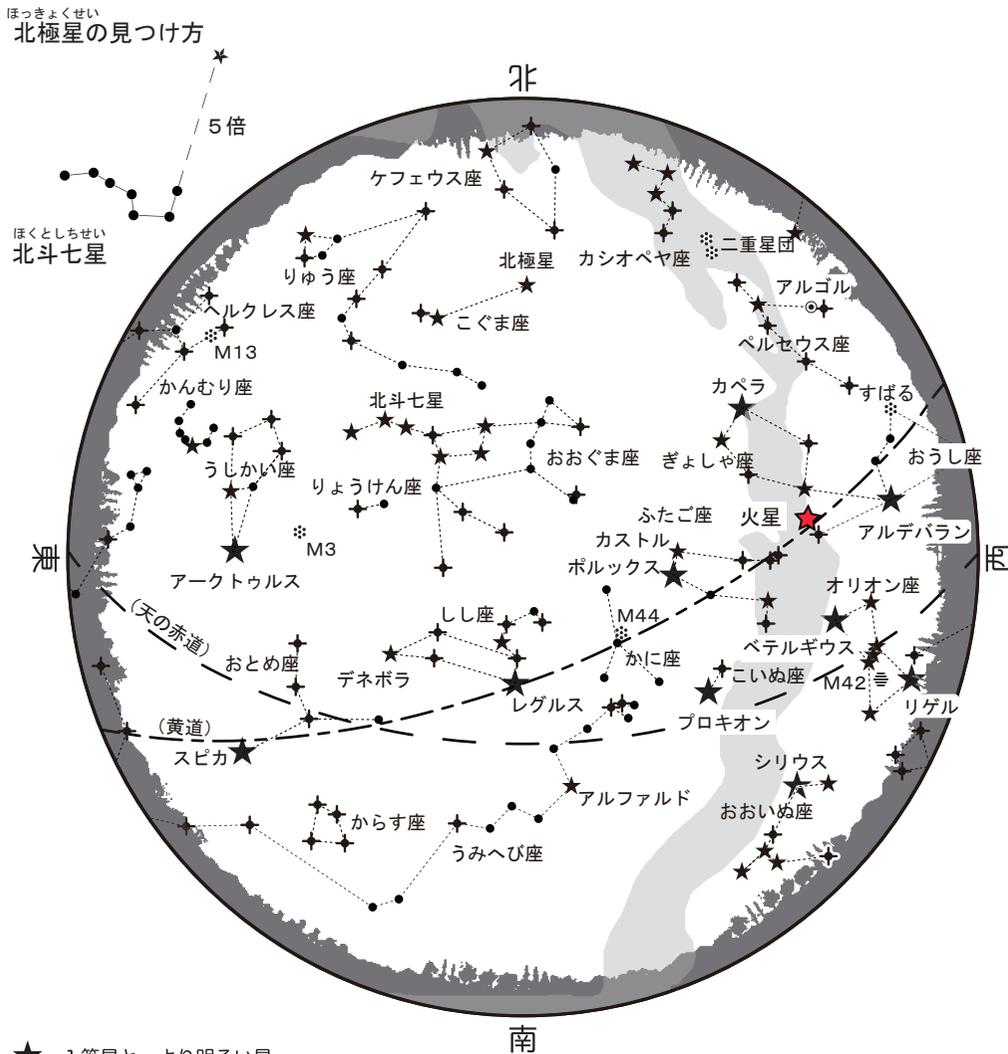


# 富山で見える 2021年4月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見よう。



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ⊛ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

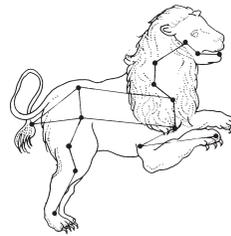
～この星空が見えるのは～

- 4月 5日 午後9時ころ
- 4月 20日 午後8時ころ
- 5月 5日 午後7時ころ

～月のようす～

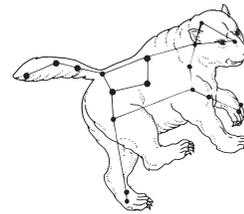
- 4月 4日下弦 ☾
- 4月 12日新月 ☽
- 4月 20日上弦 ☽
- 4月 27日満月 ☽

## しし座



しし座は、胸に輝く1等星のレグルスが目印です。そのレグルスの上の「？」マークを左右裏返しにしたような星の並びを「ししの大鎌」といい、しし座の頭にあたります。しっぽの2等星デネボラなど星たちをつなぐと今にもジャンプしそうな姿を星空に作るすることができます。

## おおぐま座



北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形の「北斗七星」がある星座です。北斗七星は、おおぐまの背中からしっぽの部分になります。ひしゃくの柄の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、目がよい人は肉眼でも分かる二重星です。

## うしかい座



とても明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。この星の明るさは0等星で、「熊の番人」という意味があります。日本では「麦星」と呼んでいたところもあります。隣のりょうけん座は、この牛飼いの飼っている犬です。

## おとめ座



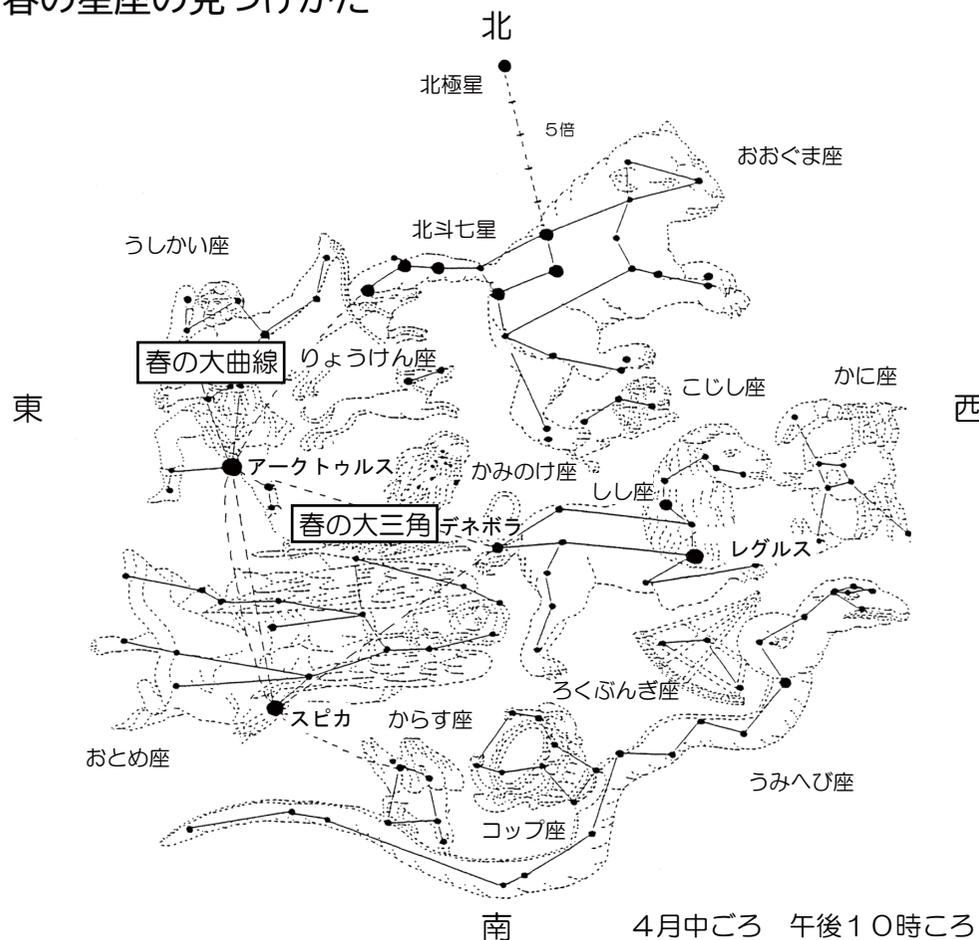
青白く輝く1等星のスピカがある星座です。この星座は農業の女神デーメーテルの姿とも言われ、左手に麦の穂を持っています。そこに輝いているのがスピカで、とがった麦の穂の先という意味があります。

## うみへび座



かに座の南に頭があり、暗い星を東へずっとたどって長いヘビの形を作ります。88個の星座の中で最も大きな星座で、神話では英雄ヘラクレスに退治された怪物ヒドラです。うみへび座の背中には、からす座が乗っています。

# 春の星座の見つけかた



- 1 北の空で、北斗七星を見つけます。
- 2 北斗七星の柄のカーブを伸ばし、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座と続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アルクトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 しし座の頭から胸にかけての星を結んでできる、「？」を左右裏返しにした星の並びの、一番下で輝く星がレグルスです。
- 5 星座の中でもっとも大きいうみへび座、2番目に大きいおとめ座、3番目に大きいおおぐま座を見つけることができると楽しいですね。

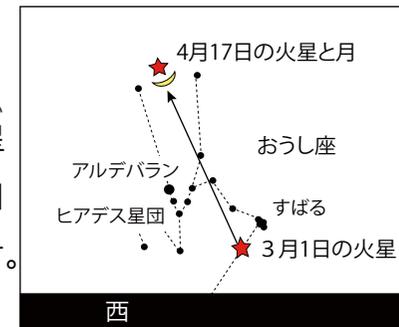
# 火星

○4月17日(土) 月と大接近

3月には、おうし座のすばるとヒアデス星団の間を通り過ぎていった火星。4月17日には、おうし座の角の先で月と大接近します。

○火星探査機 到着ラッシュ2021

昨年7月、アラブ首長国連邦、中国、アメリカの3か国が、火星に向けて探査機を打ち上げました。3機とも2月には火星の軌道に到達し、内1機が火星の表面に探査車を着陸させ、2機が火星上空からそれぞれ調査をしているところです。火星の大気、気象、気候の調査、地質調査、サンプル採取などを目的としています。どんなことが解明されるでしょう。



al-Amal (アラブ首長国連邦)  
© UAE Space Agency/MBRSC



天問1号(中国) © CNSA  
探査車のミッションは5~6月の予定



Perseverance (アメリカ)  
© NASA/JPL-Caltech

# 西の空の二つ星

4月の西の空では、横に2つ並んで輝く星が目を引きまます。ふたご座のポルックスとカストルです。その右下にはぎょしゃ座のカペラ、左下にはこいぬ座のプロキオンがあり、山のような形をつくっています。たいへん見つけやすいので、探してみてください。

